青い破線はサイズの確認のため、実際には印刷されません。

H0D056 2013.4

重要なお知らせ〔工事店様へ〕

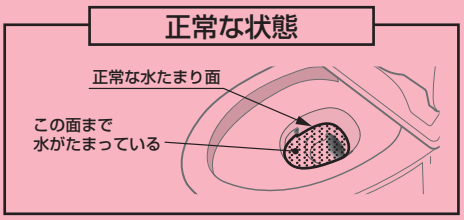
施工後、水たまり面の状態を必ず確認してください。
施工が終わるまで捨てないでください。

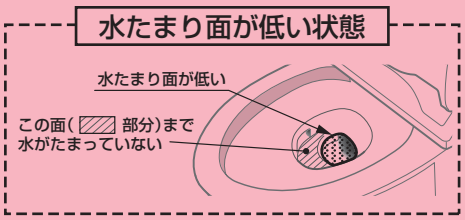
水たまり面が低下する場合の対応方法

マニュアルフラッシュバルブ、オートクリーンCともに通気有無を確認し、通気が取れていなければ通気を取ってください。

オートクリーンCの場合

排水管の状況により、水たまり面が低下するおそれがあります。





〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉
ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。
※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

水たまり面が低下する場合は、設定変更が必要です。
詳しくは、フラッシュバルブ同梱の施工説明書をご確認ください。

マニュアルフラッシュバルブの場合

水量調節ねじをあけて水量を増やして洗浄し、封水が戻ることを確認してください。

<オートクリーンCの場合のみ> 洗浄水量の切替方法

自治体によって洗浄水量の規制がある場合は、大洗浄4.8L、小洗浄3.6L仕様を下記水量に変更することができます。

・大洗浄6L、小洗浄4.8L　または　・大洗浄8L、小洗浄6L

変更する場合は、フラッシュバルブ同梱の施工説明書をご確認ください。